

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍（外国語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
<u>Morita T</u>	Nutrition and hydration in palliative care: Japanese perspectives. Edited by Victor R. Preedy.	Preedy VR	Diet and Nutrition in Palliative Care	CRC	UK	2011	105-119
<u>Okamura H</u>	Psychological impact and associated factors after disclosure of genetic test results concerning hereditary nonpolyposis colorectal cancer	Ettarh R	Colorectal Cancer - From Prevention to Patient Care	InTech	Croatia	2012	88-100
<u>Okamura H</u>	Rehabilitation of elderly people with dementia	Wu J	Biomedical Engineering and Cognitive Neuroscience for Healthcare: Interdisciplinary Applications	IGI Global	Pennsylvania	2012	235-242
Ando M, <u>Morita T</u>	How to Conduct the Short-Term Life Review Interview for Terminally Ill Patients.	Lancaster AJ, Sharpe O	Psychotherapy New Research	NOVA Science Publishers	US	2012	101-108
Fujimori M, <u>Uchitomi Y,</u> et al	Chapter 26 Communication between cancer patients and oncologists in Japan.	Surbone A, Zwitter M, Rajer M, Stiefel R	New Challenges in Communication with Cancer Patients.	Springer	New York	2013	301-316
<u>Okamura H</u>	Psychosocial care for patients with colorectal cancer	Khan JS	Colorectal Cancer - Surgery, Diagnostics and Treatment	InTech	Croatia		in press

書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
明智龍男, <u>内富庸介</u>	がん患者の抑うつ症状緩和-最近の話題	樋口輝彦	別冊・医学のあゆみ 最新うつ病のすべて	医歯薬出版株式会社	東京	2010	160-164

内富庸介, 他	悪性腫瘍	下田和孝	脳とこころの プライマリケ ア1うつと不 安	株式会社 シナジー	東京	2010	354-362
内富庸介	精神腫瘍学概論	大西秀樹	専門医のため の精神科臨床 リュミエール24	中山書店	東京	2010	2-12
藤森麻衣子, 内富庸介	がん医療におけるコミ ュニケーションスキル	大西秀樹	専門医のため の精神科臨床 リュミエール24	中山書店	東京	2010	139-148
藤森麻衣子, 内富庸介	Bad Newsの伝え方・予 後の話し合い方		消化器Book01 胃癌を診る・ 治療する 早 期発見から緩 和ケア	株式会社 羊土社	東京	2010	146-152
明智龍男	せん妄なのか、アカシ ジアなのか分からない 時の対応	森田達也, 新城拓也, 林糸り子	緩和ケアのち ょっとしたコ ツ	青海社	東京	2010	238-240
明智龍男	希死念慮・自殺	大西秀樹	専門医のため の精神科臨床 リュミエール 24 サイコオ ンコロジー	中山書店	東京	2010	69-74
明智龍男	精神症状の基本	小川朝生, 内富庸介	これだけは知 っておきたい がん医療にお ける心のケア	創造出版	東京	2010	53-60
小川朝生	心のケアの考え方 精 神心理的苦痛のアセス メント	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポ ケットガイド 此 れだけは知っ ておきたいが ん医療におけ る心のケア	創造出版	東京	2010	36-52
小川朝生	せん妄への対応	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポ ケットガイド 此 れだけは知っ ておきたいが ん医療におけ る心のケア	創造出版	東京	2010	61-80
小川朝生	認知症への対応	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポ ケットガイド 此 れだけは知っ ておきたいが ん医療におけ る心のケア	創造出版	東京	2010	81-90
小川朝生	がん患者をチームで診 る	松島英介	現代のエスプ リ がん患者 のこころ	株式会社 ぎょうせい	東京	2010	136-147
小川朝生	コンサルテーションの 基本	大西秀樹	サイコオンコ ロジー	株式会社 中山書店	東京	2010	13-25
岡村仁	2 .がんの治療の流れと 心のケア	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポ ケットガイド これだけは知 っておきたい	創造出版	東京	2010	3-7

			がん医療における心のケア				
岡村仁	15. 情報.	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ポケットガイド これだけは知っておきたい がん医療における心のケア	創造出版	東京	2010	147-149
岡村仁	精神症状の評価とマネージメント 9. 高齢者 / 認知症 .	大西秀樹	専門医のための精神科臨床リュミエール24 サイコオンコロジー	中山出版	東京	2010	120-126
大西秀樹	家族・遺族ケア	松下正明, 山内俊雄	サイコオンコロジー 専門医のための精神科臨床リュミエール24	山中書店	東京	2010	128-139
森田達也	13. 輸液・栄養補給 Q66 終末期の輸液の考え方を教えてください	堀夏樹, 小澤桂子	一般病棟でできる緩和ケア Q&A改訂版	総合医学社	東京	2010	146-147
森田達也	18. 鎮静（セデーション） Q83鎮静とは何ですか？	堀夏樹, 小澤桂子	一般病棟でできる緩和ケア Q&A改訂版	総合医学社	東京	2010	182-183
森田達也	18. 鎮静（セデーション） Q85鎮静に使われる薬剤の使い方を教えてください	堀夏樹, 小澤桂子	一般病棟でできる緩和ケア Q&A改訂版	総合医学社	東京	2010	186-187
社団法人日本医師会 （監）		森田達也, 他	がん緩和ケアガイドブック	青海社	東京	2010	
日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会		日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2010年版	金原出版	東京	2010	
日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会		日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会	苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン 2010年版	金原出版	東京	2010	
森田達也	. 緩和医療 1. 緩和医療概論	大西秀樹	専門医のための精神科臨床リュミエール24 サイコオンコロジー	中山書店	東京	2010	150-163
中谷直樹, 他	心理社会的要因とがん発生/生存	大西秀樹/ 責任編集	専門医のための精神科臨床リュミエール24:サイコオンコロジー	中山書店	東京	2010	26-37
内富庸介	サイコオンコロジーの心身医学 - がん患者の	石津 宏	専門医のための精神科臨床	中山書店	東京	2011	175-82

	心のケア		リュミエール 27 精神科領域からみた心身症,				
馬場華奈己, 内富庸介	がん患者の心の反応「昨日、膵臓がんだと告げられました」と打ち明けられました	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	1-8
馬場華奈己, 内富庸介	がん患者の心の反応「再発したらしいのですが…」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	9-16
馬場華奈己, 内富庸介	コミュニケーションスキル「もう治療がないと言われたのですが」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	17-22
柚木三由起, 内富庸介, 他	コミュニケーションスキル「ポータブルトイレを使いたくないです」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	23-28
馬場華奈己, 内富庸介	うつ病「消えてなくなりたい…と言われたのです」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	80-86
内富庸介	第1章悪性腫瘍	日本総合病院精神医学会 治療戦略検討委員会	向精神薬・身体疾患治療薬の相互作用に関する指針 日本総合病院精神医学会治	星和書店	東京	2011	1-13

			療指針 5				
明智龍男	かかりつけ医が理解すべきがん患者のこころの変化-診断から終末期まで	池田健一郎	患者・家族の相談に応えるがん診療サポートガイド	南山堂	東京	2011	777-781
明智龍男	がん患者の精神医学的課題	山口徹, 北原光夫, 福井次矢	今日の治療指針	医学書院	東京	2011	882
明智龍男	がん治療における精神的ケアと薬物療法	古瀬純司	消化器がん化学療法ハンドブック	中外医学社	東京	2011	83-90
明智龍男	緩和ケアにおける精神科	永井良三	精神科研修ノート	診断と治療社	東京	2011	73-76
明智龍男	癌患者における幻覚妄想	堀口淳	脳とこころのプライマリケア 6巻 幻覚と妄想	シナジー	東京	2011	327-333
明智龍男	希死念慮	清水研	がん診療に携わるすべての医師のための心のケアガイド	真興交易(株)医学書出版部	東京	2011	62-65
明智龍男	希死念慮、自殺企図、自殺	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	108-116
明智龍男	自殺企図	大江裕一郎, 新海哲, 高橋俊二	がん救急マニュアル	メジカルレビュー社	東京	2011	192-196
明智龍男	心理社会的介入	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	194-201
清水研	がん医療に携わるすべての医師のための心のケアガイド	清水研		真興交易出版	東京	2011	
清水研	うつ病、適応障害	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	96-107
清水研	不安障害	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	116-119
清水研	サバイバーシップ	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	318-322
小川朝生	コンサルテーションとアセスメント	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	52-64
小川朝生	せん妄	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	120-132
小川朝生	認知症	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	133-136
小川朝生	発達障害	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	142-145
小川朝生	薬物間相互作用	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	185-190
小川朝生	高齢者腫瘍学	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	309-317
小川朝生	意思決定能力	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	365-372

小川朝生	ガイドライン作成と各 地域での取り組み	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	383-386
小川朝生	悪性腫瘍	日本総合病 院精神医学 会治療戦略 検討委員会	向精神薬・身 体疾患治療薬 の相互作用に 関する指針	株式会 社星和書店	東京	2011	1-13
小川朝生	患者さんが「治療を受 けたくない」と言って います。	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心 のケア こん なときどうす る?サイコ オネコロジ ーを学びたいあ なたへ	文光堂	東京	2011	29-38
小川朝生	「身の置きどころがな いのです」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心 のケア こん なときどうす る?サイコ オネコロジ ーを学びたいあ なたへ	文光堂	東京	2011	39-47
小川朝生	化学療法が終わっても 「何だかだるい」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心 のケア こん なときどうす る?サイコ オネコロジ ーを学びたいあ なたへ	文光堂	東京	2011	71-79
小川朝生	「胸苦しさが治まりま せん...」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心 のケア こん なときどうす る?サイコ オネコロジ ーを学びたいあ なたへ	文光堂	東京	2011	87-94
小川朝生	患者さんが怒っていま す	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心 のケア こん なときどうす る?サイコ オネコロジ ーを学びたいあ なたへ	文光堂	東京	2011	102-109
小川朝生	主治医はメンタルをわ かっていないみたいです。	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	こんなときど うする?サイ コオネコロジ ーを学びたい あなたへ	文光堂	東京	2011	117-124
小川朝生	認知症・せん妄	清水研	がん診療に携 わるすべての 医師のための 心のケアガイ ド	新興交 易(株)医書出 版部	東京	2011	50-56
小川朝生	緩和ケアチームとの連 携	清水研	がん診療に携 わるすべての 医師のための 心のケアガイ	新興交 易(株)医書出 版部	東京	2011	75-79

			ド				
岡村仁			がんで不安なあなたへ心のケアの道しるべ	メディカルトリビューン	東京	2011	
岡村仁	がん患者のリハビリテーションと心理的問題	清水研	がん医療に携わるすべての医師のための心のケアガイド	真興交易(株)医学出版部	東京	2011	206-209
岡村仁	乳癌発症リスクに関連する心理社会的要因はあるか	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編	金原出版株式会社	東京	2011	46-48
岡村仁	心理社会的介入は乳癌患者に有用か	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編	金原出版株式会社	東京	2011	103-105
岡村仁	リハビリテーション	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	191-194
岡村仁	家族性腫瘍	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	347-352
大西秀樹	意識の障害(せん妄)「患者さんがベッドの柵を乗り越えようとしています」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	48-55
大西秀樹	意識の障害(せん妄)「あの患者さん,ちょっとキャラが変わったみたい」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	56-62
大西秀樹	うつ病「眠剤を3回飲んでも寝られないんです」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	63-70
大西秀樹	家族とのかかわり「患者さんの家族が泣いています」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオ	文光堂	東京	2011	95-101

			ンコロジを 学びたいあな たへ一歩進ん だケアにつな がる16事例				
大西秀樹	家族とのかかわり 「家族が怒って います」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心 のケアこんな ときどうす る?サイコオ ンコロジを 学びたいあな たへ一歩進ん だケアにつな がる16事例	文光堂	東京	2011	110-116
森田達也	せん妄	江口研二, 他	支持・緩和薬 物療法マスタ ー がん治療 の副作用対策	メジカル ビュー社	東京	2011	146-148
森田達也	緩和ケア普及のための 地域プロジェクト (OPTIM-study)の経過 と今後の課題	(財)日本ホ スピス・緩和 ケア研究 振興財団 「ホスピス 緩和ケア白 書」編集委 員会	ホスピス緩和 ケア白書2011	(財)日本 ホスピ ス・緩和 ケア研究 振興財団	東京	2011	24-41
森田達也		森田達也	秘伝 臨床 が変わる緩和 ケアのちょっ としたコツ	青海社	東京	2011	
日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成 委員会, 森田 達也		日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成 委員会	がん患者の消 化器症状の緩和 に関するガイ ドライン 2011年版	金原出版	東京	2011	
日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成 委員会, 森田 達也		日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成 委員会	がん患者の呼 吸器症状の緩和 に関するガイ ドライン 2011年版	金原出版	東京	2011	
森田達也		森田達也	臨床をしながら できる国際 水準の研究の まとめ方 - がん 緩和ケアでは こうする -	青海社	東京	2011	
天野功二, 森 田達也	B実践編 2 .身体症状 マネジメントをめぐる 問題	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	65-88
森田達也, 他		森田達也, 他	エビデンスで 解決!緩和医 療ケースファ イル	南江堂	東京	2011	

天野功二, 森田達也	第 章 消化器癌化学療法の実際. 消化器癌化学療法施行時の栄養管理と消化器癌患者に対する緩和医療. 消化器癌患者に対する緩和医療	大村健二, 他	消化器癌化学療法. 改訂3版	南山堂	東京	2011	360-375
中谷直樹	罹患・生存と心理社会的問題	内富庸介, 小川朝生/編集	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	25-38
中谷直樹	心理的要因ががん発症・がん予後に与える影響	清水研/編著	ストラテジーがん医療に携わるすべての医師のための心のケアガイド	真興交易(株)医書出版部	東京	2011	211-218
井上真一郎, 内富庸介	B.サイコオンコロジー	日本乳癌学会	乳腺腫瘍学	金原出版株式会社	東京	2012	325-330
内富庸介	サイコオンコロジー領域における抗うつ薬の役割	小山司/監修	Depression Strategyうつ病治療の新たなストラテジー	先端医学社	東京	2012	7-12
井上真一郎, 内富庸介	緩和医療におけるせん妄症例B	八田耕太郎, 岸泰宏	病棟・ICUで出会うせん妄に診かた	中外医学社	東京	2012	153-167
寺田整司, 内富庸介	認知症を伴う糖尿病性腎症患者のケーススタディ	榎野博史	糖尿病×CKD診療ガイドQ&A	南山堂	東京	2012	167-168
日本総合病院精神医学会がん対策委員会(監修)		小川朝生/内富庸介	精神腫瘍学クリニックエッセンス	創造出版	東京	2012	1-333
明智龍男	緩和ケアと抑うつ-がん患者の抑うつの評価と治療	「精神科治療学」編集委員会	気分障害の治療ガイドライン	星和書店	東京	2012	258-262
明智龍男	がん患者の心のケア-サイコオンコロジーの役割	NHKラジオあさいちばん	NHKラジオあさいちばん	NHKサービスセンター	東京	2012	100-110
明智龍男	緩和ケアに関する学会などについての情報-日本サイコオンコロジー学会、日本総合病院精神医学会	日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	ホスピス緩和ケア白書2012	日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	東京	2012	71-73
明智龍男	がん患者の自殺、希死念慮	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学クリニックエッセンス	創造出版	東京	2012	75-87
明智龍男	精神療法	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学クリニックエッセンス	創造出版	東京	2012	167-184
小川朝生	精神腫瘍学コンサルテーションこれだけは	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学クリニックエッセンス	社会福祉法人新樹会創造出	東京	2012	21-28

小川朝生	不穏	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ク リニカルエッ センス	版 社会福祉 法人新樹 会創造出 版	東京	2012	71-74
小川朝生	せん妄	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ク リニカルエッ センス	社会福祉 法人新樹 会創造出 版	東京	2012	88-104
小川朝生	認知症	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ク リニカルエッ センス	社会福祉 法人新樹 会創造出 版	東京	2012	105-112
小川朝生	神経症状けいれん発 作、末梢神経障害	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ク リニカルエッ センス	社会福祉 法人新樹 会創造出 版	東京	2012	145-155
小川朝生	緩和ケアチーム	小川朝生, 内富庸介	精神腫瘍学ク リニカルエッ センス	社会福祉 法人新樹 会創造出 版	東京	2012	262-274
小川朝生	サイコオンコロジー の動向と現状	(公財)日本 ホスピス・ 緩和ケア研 究振興財団 「ホスピス 緩和ケア白 書」編集委 員会	ホスピス緩和 ケア白書2012	(公財)日 本ホスピ ス・緩和 ケア研究 振興財団	東京	2012	46-51
小川朝生	がん等による慢性疼痛 時のうつ病診察のコツ と処方例	中尾睦宏, 伊藤弘人	日常診療にお けるうつ病治 療指針	医薬ジャ ーナル社	東京	2012	135-148
岡村仁	再発・転移しているこ とがわかりました。ど のように気持ちを整理 したらよいですか	日本乳癌学 会	2012年版 患 者さんのため の乳がん診療 ガイドライン	金原出版 株式会社	東京	2012	134-135
岡村仁	家族(夫・子ども)と どう向き合えばよいの でしょうか	日本乳癌学 会	2012年版 患 者さんのため の乳がん診療 ガイドライン	金原出版 株式会社	東京	2012	153-154
岡村仁	抗がん剤(化学療法薬) やホルモン剤によっ てうつになることはあり ますか	日本乳癌学 会	2012年版 患 者さんのため の乳がん診療 ガイドライン	金原出版 株式会社	東京	2012	161-162
田村恵子, 森 田達也, 他		田村恵子, 森田達也, 他	看護に活かす スピリチュ アルケアの手 引き	青海社	東京	2012	
森田達也	55緩和医療 1.疼痛緩 和と終末期医療	日本臨床腫 瘍学会	新臨床腫瘍学 改訂第3版	南江堂	東京	2012	673-682
浅井真理子	死別における意味再構 築	内富庸介, 大西秀樹, 藤澤大介 (監訳)	がん患者心理 療法ハンドブ ック	医学書院	東京	2013	403-420

竹中文良/内 富庸介(監 訳)		竹中文良/ 内富庸介 (監訳)	がん患者・家 族のためのウ ェルネスガイ ド-がんと診 断されてもあ なたらしく生 きるために-	パレード	大阪	2013	
明智龍男	がん患者の抑うつの評 価と治療		NAGOYA MEDICAL JOURNAL		名古屋	2013	51-55
明智龍男	一般身体疾患による気 分障害	山口徹, 北 原光夫, 福 井次矢(編)	今日の治療指 針	医学書院	東京	2013	868
明智龍男	精神症状マネジメント 概論	日本緩和医 療薬学会 (編)	緩和医療薬学	南江堂	東京	2013	79
小川朝生	癌患者の心理的反応・ サイコオンコロジー	小川修, 岡 田裕作, 荒 井陽一, 寺 地敏郎, 松 田公志, 箕 善行, 羽淵 友則	ベッドサイド 泌尿器科学改 定第4版	南江堂	東京	2013	617-620
小川朝生	意識障害(せん妄)	日本緩和医 療薬学会	緩和医療薬学	南江堂	東京	2013	80-81
小川朝生	がん領域における抑う つの現状と対応	村松公美 子, 伊藤弘 人	身体疾患患者 精神的支援ス トラテジー	NOVA 出版	東京	2013	23-27
小川朝生	入院患者の不眠に注意	小川修, 谷 口充孝	内科医のため の不眠診療は じめの一步	羊土社	東京	2013	27-32
小川朝生	せん妄を発症する疑い がある場合	小川修, 谷 口充孝	内科医のため の不眠診療は じめの一步	羊土社	東京	2013	156-157
小川朝生	せん妄になってしまっ た場合	小川修, 谷 口充孝	内科医のため の不眠診療は じめの一步	羊土社	東京	2013	158-160
三木恵美, 岡 村仁(監訳)			がんと緩和ケ アの作業療法	三輪書店	東京	2013	
岡村仁	精神医学概説	奈良 勲, 富樫誠二, 仙波浩幸, 山本大誠	心理・精神領 域の理学療法	医歯薬出 版株式会 社	東京	2013	14-17
岡村仁	精神症状	島崎寛将, 倉都滋之, 山崎圭一, 江藤美和子	緩和ケアが主 体となる時期 のがんのリハ ビリテーショ ン	中山書店	東京	2013	42-47
岡村仁	生下時体重が重いと乳 癌発症リスクが高いの か	日本乳癌学 会	科学的根拠に 基づく乳癌診 療ガイドライ ン 疫学・ 診断編 2013 年版	金原出版 株式会社	東京	2013	28-29

岡村仁	夜間勤務は乳癌発症リスクを増加させるか	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編 2013年版	金原出版株式会社	東京	2013	44-46
岡村仁	電磁波は乳癌発症リスクを増加させるか	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編 2013年版	金原出版株式会社	東京	2013	47-49
岡村仁	乳癌発症リスクに関連する心理社会的要因はあるか	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編 2013年版	金原出版株式会社	東京	2013	50-52
岡村仁	心理社会的介入は乳癌患者に有用か	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編 2013年版	金原出版株式会社	東京	2013	132-134
村上好恵, 岡村仁(訳)	遺伝性腫瘍外来における心理療法	内富庸介, 大西秀樹, 藤澤大介(監訳)	がん患者心理療法ハンドブック	医学書院	東京	2013	329-347
大西秀樹, 他	悪性腫瘍と心の関係	宮岡等	脳と心のプライマリケア	シナジー	東京	2013	250 - 264
大西秀樹, 他	せん妄がおこったら	平原左斗司, 茅根義和	チャレンジ在宅がん緩和ケア	南山堂	東京	2013	119-127
宮下光令(編集), 森田達也(医学監修), 他	ナーシング・グラフィカ成人看護学	宮下光令(編集), 森田達也(医学監修), 他	緩和ケア	メディカ出版	大阪	2013	
日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会, 森田達也		日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会	終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン 2013年版	金原出版株式会社	東京	2013	
森田達也	緩和ケア普及のための地域プロジェクト(OPTIM-study.)から得られたものをどう生かすか	(財)日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団「ホスピス緩和ケア白書」編集委員会	ホスピス緩和ケア白書2013	(財)日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	東京	2013	28-37
木澤義之, 森田達也, 他		木澤義之, 森田達也, 他	3ステップ実践緩和ケア	青海社	東京	2013	

日本アプライド・セラピューティックス学会, 森田達也		日本アプライド・セラピューティクス学会	2ページで理解する標準薬物治療ファイル	南江堂	東京	2013	
----------------------------	--	---------------------	---------------------	-----	----	------	--

雑誌 (外国語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Akechi T, Okamura H, Shimizu K, Uchitomi Y, et al</u>	Gender differences in factors associated with suicidal ideation in major depression among cancer patients	Psychooncology	19	384-389	2010
<u>Asai M, Akechi T, Shimizu K, Ogawa A, Uchitomi Y, et al</u>	Psychiatric disorders and stress factors experienced by staff members in cancer hospitals: a preliminary finding from psychiatric consultation service at National Cancer Center Hospitals in Japan	Palliat Support Care	8	291-295	2010
<u>Asai M, Uchitomi Y, et al</u>	Psychological states and coping strategies after bereavement among the spouses of cancer patients: a qualitative study	Psychooncology	19	38-45	2010
<u>Ishida M, Onishi H, Uchitomi Y, et al</u>	Bereavement dream? Successful antidepressant treatment for bereavement-related distressing dreams in patients with major depression	Palliat Support Care	8	95-98	2010
<u>Kishimoto Y, Uchitomi Y, et al</u>	Kana Pick-out Test and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease	Int Psychogeriatr		1-8	2010
<u>Matsumoto Y, Shimizu K, Uchitomi Y, et al</u>	Suicide associated with corticosteroid use during chemotherapy: case report	Jpn J Clin Oncol	40	174-176	2010
<u>Nakaya N, Uchitomi Y, et al</u>	Personality traits and cancer risk and survival based on Finnish and Swedish registry data	Am J Epidemiol	172	377-385	2010
<u>Nakaya N, Uchitomi Y, et al</u>	Increased risk of severe depression in male partners of women with breast cancer	Cancer	116	5527-5534	2010
<u>Ogawa A, Shimizu K, Uchitomi Y, et al</u>	Involvement of a psychiatric consultation service in a palliative care team at the Japanese cancer center hospital	Jpn J Clin Oncol	40	1139-1146	2010
<u>Shimizu K, Ogawa A, Uchitomi Y, et al</u>	Feasibility and usefulness of the 'Distress Screening Program in Ambulatory Care' in clinical oncology practice	Psychooncology	19	718-725	2010
<u>Akechi T, et al</u>	Anticipatory nausea among ambulatory cancer patients undergoing chemotherapy: Prevalence, associated factors, and impact on	Cancer Sci	101(12)	2596-2600	2010

	quality of life.				
<u>Akechi T</u> , et al	Delirium training program for nurses.	Psychosomatics	51(2)	106-111	2010
Katsumata R, <u>Akechi T</u> , et al	A case with Hodgkin lymphoma and fronto-temporal lobular degeneration (FTLD)-like dementia facilitated by chemotherapy.	Jpn J Clin Oncol	40(4)	365-368	2010
Azuma H, <u>Akechi T</u> , et al	Paroxysmal nonkinesigenic dyskinesia with depression treated by bilateral electroconvulsive therapy.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci	22(3)	352d e6-352 e6	2010
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	Efficacy of short-term life-review interviews on the spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	J Pain Symptom Manage	39(6)	993-1002	2010
Akazawa T, <u>Akechi T</u> , <u>Morita T</u> , et al	Self-perceived burden in terminally ill cancer patients: a categorization of care strategies based on bereaved family members' perspectives.	J Pain Symptom Manage	40(2)	224-234	2010
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u>	Factors in the short-term life review that affect spiritual well-being in terminally ill cancer patients.	J Hosp Palliat Nurs	12	305-311	2010
Matsumoto Y, <u>Shimizu K</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Suicide associated with corticosteroid use during chemotherapy: case report.	Jpn J ClinOncol	40	174-176	2010
Ozono S, <u>Okamura H</u> , et al	Psychological distress related to patterns of family functioning among Japanese childhood cancer survivors and their parents.	Psycho-Oncology	19	545-552	2010
Funaki Y, <u>Okamura H</u> , et al	Effect of exercise on a speed feedback therapy system in elderly persons.	Phys Occup Ther Geriatr	28	131-143	2010
Hanaoka H, <u>Okamura H</u> , et al	Psychosocial factors that influence the effects of obesity improvement programs.	J Rural Med	5	175-183	2010
Shinjo T, <u>Morita T</u> , et al	Care for the Bodies of Deceased Cancer Inpatients in Japanese Palliative Care Units.	J Palliat Med	13	27-31	2010
Shinjo T, <u>Morita T</u> , et al	Care for imminently dying cancer patients: family members' experiences and recommendations.	J Clin Oncol	28	142-148	2010
Okamoto T, <u>Morita T</u> , et al	Religious care required for Japanese terminally ill patients with cancer from the perspective of bereaved family members.	Am J Hosp Palliat Med	27	50-54	2010
Nakazawa Y, <u>Morita T</u> , et al	The palliative care self-reported practices scale and the palliative care difficulties scale: reliability and validity of two scales evaluating self-reported practices and difficulties experienced in	J Palliat Med	13	427-437	2010

	palliative care by health professionals.				
Hyodo I, <u>Morita T</u> , et al	Development of a predicting tool for survival of terminally ill cancer patients.	Jpn J Clin Oncol	40	442-448	2010
Ise Y, <u>Morita T</u> , et al	Role of the community pharmacy in palliative care: a nationwide survey in Japan.	J Palliat Med	13	733-737	2010
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Value of religious care for relief of psycho-existential suffering in Japanese terminally ill cancer patients: the perspective of bereaved family members.	Psychooncology	19	750-755	2010
Yamada R, <u>Morita T</u> , et al	Patient-reported usefulness of peripherally inserted central venous catheters in terminally ill cancer patients.	J Pain Symptom Manage	40	60-66	2010
Hisanaga T, <u>Morita T</u> , et al	Multicenter prospective study on efficacy and safety of octreotide for inoperable malignant bowel obstruction.	Jpn J Clin Oncol	40	739-745	2010
Igarashi A, <u>Morita T</u> , et al	Changes in medical and nursing care after admission to palliative care units: a potential method for improving regional palliative care.	Support Care Cancer	18	1107-1113	2010
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Effects of bereavement life review on spiritual well-being and depression.	J Pain Symptom Manage	40	453-459	2010
Choi J, <u>Morita T</u> , et al	Preference of place for end-of-life cancer care and death among bereaved Japanese families who experienced home hospice care and death of a loved one.	Support Care Cancer	18	1445-1453	2010
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	The care strategy for families of terminally ill cancer patients who become unable to take nourishment orally: Recommendations from a nationwide survey of bereaved family members' experiences.	J Pain Symptom Manage	40	671-683	2010
Sugiyama K, <u>Nakaya N</u> , et al	Coffee consumption and mortality due to all causes, cardiovascular disease, and cancer in Japanese women.	J Nutr	140(5)	1007-1013	2010
Shimizu K, <u>Nakaya N</u> , <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Treatment response to psychiatric intervention and predictors of response among cancer patients with adjustment disorders.	J Pain Symptom Manage	41(4)	684-691	2011
Haraguchi T, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Coexistence of TDP-43 and tau pathology in neurodegeneration with brain iron accumulation type 1 (NBIA-1, formerly Hallervorden-Spatz syndrome).	Neuropathology	31(5)	531-539	2011

Ito T, <u>Shimizu K</u> , <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Usefulness of pharmacist-assisted screening and psychiatric referral program for outpatients with cancer undergoing chemotherapy.	Psychooncology	20(6)	647-654	2011
Ishida M, <u>Onishi H</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Psychiatric disorders in patients who lost family members to cancer and asked for medical help: descriptive analysis of outpatient services for bereaved families at Japanese cancer center hospital.	Jpn J Clin Oncol	41(3)	380-385	2011
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Suicidal ideation among patients with gender identity disorder.	Psychiatry Res	190(1)	159-162	2011
Kishimoto Y, <u>Uchitomi</u> <u>Y</u> , et al	Kana Pick-out Test and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease.	Int Psychogeriatr	23(4)	546-553	2011
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Perseverative errors on the Wisconsin Card Sorting Test and brain perfusion imaging in mild Alzheimer's disease.	Int Psychogeriatr		1-8	2011
Kobayakawa M, <u>Akechi T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Serum Brain-derived Neurotrophic Factor and Antidepressant-naive Major Depression After Lung Cancer Diagnosis.	Jpn J Clin Oncol	41(10)	1233-12 37	2011
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Ak</u> <u>echi T</u> , et al	A qualitative study of mindfultn ess-based meditation therapy in Japanese cancer patients.	Support Care Canc er	19(7)	929-933	2011
Uchida M, <u>Akechi T</u> , et al	Patients' supportive care needs and psychological distress in advanced breast cancer patients in Japan.	Jpn J Clin Oncol	41(4)	530-536	2011
Sagawa R, <u>Akechi T</u> , et al	Case of intrathecal baclofen-induced psychotic symptoms.	Psychiatry Clin Neurosci	65	300-301	2011
Kinoshita Y, <u>Akechi</u> <u>T</u> , et al	Psychotic-like experiences are associated with violent behavior in adolescents.	Schizophr Res	126	245-251	2011
Furukawa TA, <u>Akechi</u> <u>T</u> , et al	Relative indices of treatment effect may be constant across different definitions of response in schizophrenia trials.	Schizophr Res	126	212-219	2011
<u>Akechi T</u> , et al	Social anxiety disorder as a hidden psychiatric comorbidity among cancer patients.	Palliat Support Care	9	103-105	2011
<u>Akechi T</u> , et al	Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan.	Psychooncology	20	497-505	2011
Furukawa T, <u>Akechi T</u> , et al	Strategic Use of New generation antidepressants for Depression: SUND study protocol.	Trials	12(116 )		2011
Torii K, <u>Akechi T</u> , et al	Reliability and validity of the Japanese version of the Agitated Behaviour in Dementia Scale in	Psychogeriatrics	11	212-220	2011

	Alzheimer's disease: three dimensions of agitated behaviour in dementia.				
Okuyama T, <u>Akechi T</u> , et al	Oncologists' recognition of supportive care needs and symptoms of their patients in a breast cancer outpatient consultation.	Jpn J Clin Oncol	41	1251-1258	2011
Azuma H, <u>Akechi T</u> , et al	Ictal physiological characteristics of remitters during bilateral electroconvulsive therapy.	Psychiatry Res,	185(3)	462-464	2011
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	Development of a Japanese benefit finding scale (JBFS) for patients with cancer.	Am J Hosp Palliat Care	28(3)	171-175	2011
Ueyama E, <u>Ogawa A</u> , et al	Chronic repetitive transcranial magnetic stimulation increases hippocampal neurogenesis in rats.	Psychiatry Clin Neurosci	65(1)	77-81	2011
<u>Okamura H</u>	Importance of rehabilitation in cancer treatment and palliative medicine.	Jpn J Clin Oncol	41	733-738	2011
Inoue S, <u>Okamura H</u> , et al	Assessment of the efficacy of foot baths as a means of improving the mental health of nurses: a preliminary report.	J Health Sci Hiroshima Univ	9	27-30	2011
Inoue M, <u>Okamura H</u> , et al	Evaluation of the effectiveness of a group intervention approach for nurses exposed to violent speech or violence caused by patients: a randomized controlled trial.	ISRN Nursing	Volume 2011	Article ID 325614, 8 pages	2011
Ohnishi N, <u>Okamura H</u> , et al	Relationships between roles and mental states and role functional QOL in breast cancer outpatients.	Jpn J Clin Oncol	41	1112-1118	2011
Chujo M, <u>Okamura H</u> , et al	Psychological factors and characteristics of recurrent breast cancer patients with or without psychosocial group therapy intervention.	Yonago Acta medica	54	65-74	2011
Yamashita M, <u>Okamura H</u>	Association between efficacy of self-management to prevent recurrences of depression and actual episodes of recurrence: a preliminary study.	Int J Psychol Stud	2	217-226	2011
Wada M, <u>Onishi H</u> , et al	Drug-induced akathisia as a cause of distress in spouse caregivers of cancer patients.	Palliative and Supportive Care	9(2)	209-212	2011
Yoshida S, <u>Morita T</u> , et al	Experience with prognostic disclosure of families of Japanese patients with cancer.	J Pain Symptom Manage	41(3)	594-603	2011
Matsuo N, <u>Morita T</u> , et al	Efficacy and undesirable effects of corticosteroid therapy experienced by palliative care specialists in Japan: A nationwide survey.	J Palliat Med	14(7)	840-845	2011

Hirai K, <u>Morita T</u> , et al	Public awareness, knowledge of availability, and readiness for cancer palliative care services: A population-based survey across four regions in Japan.	J Palliat Med	14(8)	918-922	2011
Otani H, <u>Morita T</u> , et al	Burden on oncologists when communicating the discontinuation of anticancer treatment.	Jpn J Clin Oncol	41(8)	999-1006	2011
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Factors that influence the efficacy of bereavement life review therapy for spiritual well-being: a qualitative analysis.	Support Care Cancer	19(2)	309-314	2011
<u>Akechi T</u> , <u>Morita T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Good death in elderly adults with cancer in Japan based on perspectives of the general population.	J Am Geriatr Soc	60(2)	271-276	2012
Shirai Y, <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Patients' perception of the usefulness of a question prompt sheet for advanced cancer patients when deciding the initial treatment: a randomized, controlled trial.	Psychooncology	21(7)	706-713	2012
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> .	School refusal by patients with gender identity disorder.	Gen Hosp Psychiatry	34(3)	299-303	2012
Takeda N, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Creutzfeldt-Jakob disease with the M232R mutation in the prion protein gene in two cases showing different disease courses: a clinicopathological study.	J Neurol Sci	15;312(1-2)	108-116	2012
<u>Shimizu K</u> , <u>Nakaya K</u> , <u>Akechi T</u> , <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Clinical biopsychosocial risk factors for depression in lung cancer patients: a comprehensive analysis using data from the Lung Cancer Database Project.	Ann Oncol,	23(8)	1973-1979	2012
Saito-Nakaya K, <u>Nakaya K</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Stress and survival after cancer: a prospective study of a Finnish population-based cohort.	Cancer Epidemiol	36(2)	230-235	2012
Oshima E, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Frontal assessment battery and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease.	Int Psychogeriatr	24(6)	994-1001	2012
<u>Ogawa A</u> , <u>Shimizu K</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Availability of psychiatric consultation-liaison services as an integral component of palliative care programs at Japanese cancer hospitals.	Jpn J Clin Oncol	42(1)	42-52	2012
Ishida M, <u>Onishi H</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Psychological Distress of the Bereaved Seeking Medical Counseling at a Cancer Center.	Jpn J Clin Oncol	42(6)	506-512	2012
Asai M, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Psychological states and coping strategies after bereavement among spouses of cancer patients: a quantitative study in Japan.	Support Care Cancer	20(12)	3189-3203	2012

Yoshida, H, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Validation of the revised Addenbrooke's Cognitive Examination (ACE-R) for detecting mild cognitive impairment and dementia in a Japanese population.	Int Psychogeriatr	24(1)	28-37	2012
Inoue S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	A case of adult-onset adrenoleukodystrophy with frontal lobe dysfunction: a novel point mutation in the ABCD1 gene.	Intern Med	51(11)	1403-1406	2012
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Effect of parenteral hydration therapy based on the Japanese national clinical guideline on quality of life, discomfort, and symptom intensity in patients with advanced cancer.	J Pain Symptom Manage	43(6)	1001-1012	2012
<u>Akechi T</u> , et al	Clinical Indicators of Depression among Ambulatory Cancer Patients Undergoing Chemotherapy	Jpn J Clin Oncol	42	1175-1180	2012
<u>Akechi T</u> , et al	Perceived needs, psychological distress and quality of life of elderly cancer patients.	Jpn J Clin Oncol	42	704-710	2012
<u>Akechi T</u> , <u>Morita T</u> , et al	Dignity therapy: Preliminary cross-cultural findings regarding implementation among Japanese advanced cancer patients.	Palliat Med	26	768-769	2012
<u>Akechi T</u>	Psychotherapy for depression among patients with advanced cancer.	Jpn J Clin Oncol	42	1113-1119	2012
Yamada A, <u>Akechi T</u> , et al	Quality of life of parents raising children with pervasive developmental disorders.	BMC Psychiatry	12	119	2012
Watanabe N, <u>Akechi T</u> , et al	Deliberate self-harm in adolescents aged 12-18: a cross-sectional survey of 18,104 students.	Suicide Life Threat Behav	42	550-560	2012
Shimodera S, <u>Akechi T</u> , et al	The first 100 patients in the SUN(^_^)D trial (strategic use of new generation antidepressants for depression): examination of feasibility and adherence during the pilot phase.	Trials	13	80	2012
Kinoshita K, <u>Akechi T</u> , et al	Not only body weight perception but also body mass index is relevant to suicidal ideation and self-harming behavior in Japanese adolescents.	J Nerv Ment Dis	200	305-309	2012
Hirai K, <u>Akechi T</u> , et al	Problem-Solving Therapy for Psychological Distress in Japanese Early-stage Breast Cancer Patients.	Jpn J Clin Oncol	42	1168-1174	2012
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	Factors in narratives to questions in the short-term life review interviews of terminally	Palliat Support Care	10	83-90	2012

	ill cancer patients and utility of the questions.				
Yokoi T, <u>Okamura H</u> , et al	Conditions associated with wandering in people with dementia from the viewpoint of self-awareness: Five case reports	Am J Alzheimers Dis Other Demen	27	162-170	2012
Yokoi T, <u>Okamura H</u> , et al	Investigation of eating actions of people with dementia from the viewpoint of self-awareness.	Am J Alzheimers Dis Other Demen	27	228-237	2012
Niiyama E, <u>Okamura H</u>	Effects of group therapy focused on the cognitions of new female nurses who experienced violent language and violent acts in the workplace.	インターナショナル Nurs Care Res 11: 33-42	11	33-42	2012
Niiyama E, <u>Okamura H</u>	Effects of group therapy focused on the coping strategies of new female nurses who experienced violent language and violent acts from patients.	インターナショナル Nurs Care Res	11	43-52	2012
Niiyama E, <u>Okamura H</u>	Effects of group therapy focused on the cognitions of new female nurses who experienced violent language and violent acts by patients.	インターナショナル Nurs Care Res	11	83-92	2012
Niiyama E, <u>Okamura H</u>	Relationship between adult children property and self esteem of nursing students.	インターナショナル Nurs Care Res	11	93-99	2012
Tada Y, <u>Onishi H</u> , et al	Psychiatric Disorders in Cancer Patients at a University Hospital in Japan: Descriptive analysis of 765 psychiatric referrals.	Japanese Journal of Clinical Oncology	42(3)	183-188	2012
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Providing palliative care for cancer patients: The views and exposure of community general practitioners and district nurses in Japan.	J Pain Symptom Manage	43(1)	59-67	2012
<u>Morita T</u> , et al	A region-based palliative care intervention trial using the mixed-method approach: Japan OPTIM study.	BMC Palliat Care	11(1)	2	2012
Igarashi A, <u>Morita T</u> , et al	A scale for measuring feelings of support and security regarding cancer care in a region of Japan: A potential new endpoint of cancer care.	J Pain Symptom Manage	43(2)	218-225	2012
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Longitudinal follow-up study using the distress and impact thermometer in an outpatient chemotherapy setting.	J Pain Symptom Manage	43(2)	236-243	2012

Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Pain intensity, quality of life, quality of palliative care, and satisfaction in outpatients with metastatic or recurrent cancer: a Japanese, nationwide, region-based, multicenter survey.	J Pain Symptom Manage	43(3)	503-514	2012
Nakazawa Y, <u>Morita T</u> , et al	The current status and issues regarding hospital-based specialized palliative care service in Japanese regional cancer centers: A nationwide questionnaire survey.	Jpn J Clin Oncol	42(5)	432-441	2012
Sato K, <u>Morita T</u> , et al	Family member perspectives of deceased relatives' end-of-life options on admission to a palliative care unit in Japan.	Support Care Cancer	20(5)	893-900	2012
Akiyama M, <u>Morita T</u> , et al	Knowledge, beliefs, and concerns about opioids, palliative care, and homecare of advanced cancer patients: a nationwide survey in Japan.	Support Care Cancer	20(5)	923-931	2012
Choi JE, <u>Morita T</u> , et al	Making the decision for home hospice: perspectives of bereaved Japanese families who had loved ones in home hospice.	Jpn J Clin Oncol	42(6)	498-505	2012
Kizawa Y, <u>Morita T</u> , et al	Development of a nationwide consensus syllabus of palliative medicine for undergraduate medical education in Japan: A modified Delphi method.	Palliat Med	26(5)	744-752	2012
Matsuo N, <u>Morita T</u> , et al	Physician-reported corticosteroid therapy practices in certified palliative care units in Japan: A nationwide survey.	J Palliat Med	15(9)	1011-1016	2012
Kaneishi K, <u>Morita T</u> , et al	Olanzapine for the relief of nausea in patients with advanced cancer and incomplete bowel obstruction.	J Pain Symptom Manage	44(4)	604-607	2012
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Preferred place of care and place of death of the general public and cancer patients in Japan.	Support Care Cancer	20(10)	2575-2582	2012
Yoshida S, <u>Morita T</u> , et al	Pros and cons of prognostic disclosure to Japanese cancer patients and their families from the family's point of view.	J Palliat Med	15(12)	1342-1349	2012
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Recent developments in the management of cancer pain in Japan: Education, clinical guidelines and basic research.	Jpn J Clin Oncol	42(12)	1120-1127	2012
Abe K, <u>Nakaya N</u> , <u>Okamura H</u> , et al	Systematic review of rehabilitation intervention in palliative care for cancer patients.	Palliat Care Med	2	131	2012

Nakaya N, <u>Uchitomi Y</u> , et al	All-cause mortality among men whose cohabiting partner has been diagnosed with cancer.	Epidemiology	24(1)	96-99	2013
Asai M, <u>Shimizu K</u> , <u>Ogawa A</u> , <u>Akechi T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Impaired mental health among the bereaved spouses of cancer patients.	Psychooncology	22(5)	995-1001	2013
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Person-centered care and quality of life of patients with dementia in long-term care facilities.	Psychiatry Res	205(1-2)	103-108	2013
Kishimoto Y, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Abuse of people with cognitive impairment by family caregivers in Japan (a cross-sectional study).	Psychiatry Res	209(3)	699-704	2013
Inagaki M, <u>Akechi T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Associations of interleukin-6 with vegetative but not affective depressive symptoms in terminally ill cancer patients.	Support Care Cancer	21(8)	2097-2106	2013
Nagao S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Progressive supranuclear palsy presenting as primary lateral sclerosis.	J Neurol Sci	329(1-2)	70-71	2013
Oshima E, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Accelerated Tau Aggregation, Apoptosis and Neurological Dysfunction Caused by Chronic Oral Administration of Aluminum in a Mouse Model of Tauopathies.	Brain Pathol	23(6)	633-644	2013
Hayashi S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Burden of caregivers for patients with mild cognitive impairment in Japan.	Int Psychogeriatr	25(8)	1357-1363	2013
Shindo A, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Trail making test part a and brain perfusion imaging in mild Alzheimer's disease.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra	3(1)	202-211	2013
Kondo K, <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Characteristics associated with empathic behavior in Japanese oncologists.	Patient Educ Couns	93(2)	350-353	2013
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Trail Making Test B and brain perfusion imaging in mild cognitive impairment and mild Alzheimer's disease.	Psychiatry Res	213(3)	249-255	2013
Fujimori M, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Development and preliminary evaluation of communication skills training program for oncologists based on patient preferences for communicating bad news.	Palliative & Supportive Care	4	1-8	2013
Nagao S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Argyrophilic grain disease as a neurodegenerative substrate in late-onset schizophrenia and delusional disorders.	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci	Nov 23	Epub ahead of print	2013
Fujimori M, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Communication between Cancer Patients and Oncologists in Japan.	New Challenges in Communication with Cancer Patients	301-303		2013

<u>Akechi T, et al</u>	Assessing medical decision making capacity among cancer patients: Preliminary clinical experience of using a competency assessment instrument.	Palliat Support Care	21	1-5	2013
Fielding R, <u>Akechi T, et al</u>	Attributing Variance in Supportive Care Needs during Cancer: Culture-Service, and Individual Differences, before Clinical Factors.	PLOS ONE	8(5)	e65099	2013
Furukawa TA, <u>Akechi T, et al</u>	Cognitive-behavioral therapy modifies the naturalistic course of social anxiety disorder: Findings from an ABA design study in routine clinical practices.	Psychiatry Clin Neurosci	67(3)	139-147	2013
Kawaguchi A, <u>Akechi T, et al</u>	Group cognitive behavioral therapy for patients with generalized social anxiety disorder in Japan: outcomes at 1-year follow up and outcome predictors.	Neuropsychiatr Dis Treat	9	267-275	2013
Nakaguchi T, <u>Akechi T, et al</u>	Oncology nurses' recognition of supportive care needs and symptoms of their patients undergoing chemotherapy.	Jpn J Clin Oncol	43(4)	369-376	2013
Nakano Y, <u>Akechi T, et al</u>	Cognitive behavior therapy for psychological distress in patients with recurrent miscarriage.	Psychol Res Behav Manag	6	37-43	2013
<u>Shimizu K</u>	Effects of Integrated Psychosocial Care for Distress in Cancer Patients.	Jpn J Clin Oncol	43(5)	451-457	2013
Miki E, <u>Okamura H, et al</u>	Clinical usefulness of the Frontal Assessment Battery at bedside (FAB) for elderly cancer patients.	Support Care Cancer	21	857-862	2013
<u>Okamura H, et al</u>	Prevalence of dementia in Japan: a systematic review	Dement Geriatr Cogn Disord	36	111-118	2013
Yokoi T, <u>Okamura H</u>	Why do dementia patients become unable to lead a daily life with decreasing cognitive function?.	Dementia	12	551-568	2013
Endo K, <u>Okamura H, et al</u>	Dynamic exercise improves cognitive function in association with increased prefrontal oxygenation.	J Physiol Sci	63	287-298	2013
Uchimoto K, <u>Okamura H, et al</u>	Investigation of toilet activities in elderly with dementia from the viewpoint of motivation and self-awareness.	Am J Alzheimers Dis Other Demen	28	459-468	2013
Nakajima N, <u>Onishi H, et al</u>	The Evaluation of the Relationship Between the Level of Disclosure of Cancer in Terminally Ill Patients With Cancer and the Quality of Terminal	Am J Hosp Palliat Care	30	370-376	2013

	Care in These Patients and Their Families Using the Support Team Assessment Schedule.				
Miyashita M, <u>Onishi H</u> , et al	Care Evaluation Scale-Patient version: Measuring the quality of the structure and process of palliative care from the patient's perspective.	J Pain Symptom Manage			In press
Komura K, <u>Morita T</u> , et al	Patient-perceived usefulness and practical obstacles of patient-held records for cancer patients in Japan: OPTIM study.	Palliat Med	27(2)	179-184	2013
Otani H, <u>Morita T</u> , et al	Usefulness of the leaflet-based intervention for family members of terminally ill cancer patients with delirium.	J Palliat Med	16(4)	419-422	2013
Shirado A, <u>Morita T</u> , et al	Both maintaining hope and preparing for death: Effects of physicians' and nurses' behaviors from bereaved family members' perspectives.	J Pain Symptom Manage	45(5)	848-858	2013
<u>Morita T</u> , et al	Palliative care in Japan: a review focusing on care delivery system.	Curr Opin Support Palliat Care	7(2)	207-215	2013
<u>Morita T</u> , et al	Effects of a programme of interventions on regional comprehensive palliative care for patients with cancer: a mixed-methods study.	Lancet Oncol	14(7)	638-646	2013
Kunieda K, <u>Morita T</u> , et al	Reliability and validity of a tool to measure the severity of dysphagia: The food intake LEVEL scale.	J Pain Symptom Manage	46(2)	201-206	2013
Kizawa Y, <u>Morita T</u> , et al	Specialized palliative care services in Japan: a nationwide survey of resources and utilization by patients with cancer.	Am J Hosp Palliat Care	30(6)	552-555	2013
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Clinical guideline for pharmacological management of cancer pain: the Japanese society of palliative medicine recommendations	Jpn J Clin Oncol	43(9)	896-909	2013
Kanbayashi Y, <u>Morita T</u> , et al	Predictive factors for agitation severity of hyperactive delirium in terminally ill cancer patients in a general hospital using ordered logistic regression analysis.	J Palliat Med	16(9)	1020-1025	2013
Yoshida S, <u>Morita T</u> , et al	Practices and evaluations of prognostic disclosure for Japanese cancer patients and their families from the family's point of view.	Palliat Support Care	11(5)	383-388	2013

Imai K, <u>Morita T</u> , et al	Sublingually administered scopolamine for nausea in terminally ill cancer patients.	Support Care Cancer	21(10)	2777-2781	2013
Yamamoto R, <u>Morita T</u> , et al	The palliative care knowledge questionnaire for PEACE: Reliability and validity of an instrument to measure palliative care knowledge among physicians.	J Palliat Med	16(11)	1423-1428	2013
Amano K, <u>Morita T</u> , et al	Effect of nutritional support on terminally ill patients with cancer in a palliative care unit.	Am J Hosp Palliat Care	30(7)	730-733	2013
<u>Morita T</u> , et al	Exploring the perceived changes and the reasons why expected outcomes were not obtained in individual levels in a successful regional palliative care intervention trial: an analysis for interpretations.	Support Care Cancer	21(12)	3393-3402	2013
Igarashi A, <u>Morita T</u> , et al	A population-based survey on perceptions of opioid treatment and palliative care units: OPTIM Study.	Am J Hosp Palliat Care	Mar 15	[epub ahead of print]	2013
Amano K, <u>Morita T</u> , et al	The determinants of patients in a palliative care unit being discharged home in Japan.	Am J Hosp Palliat Care	Apr 2	[epub ahead of print]	2013
Otani H, <u>Morita T</u> , et al	Effect of leaflet-based intervention on family members of terminally ill patients with cancer having delirium: Historical control study.	Am J Hosp Palliat Care	Apr 23	[epub ahead of print]	2013
Muta R, <u>Morita T</u> , et al	What bereavement follow-up does family members request in Japanese palliative care units?: A qualitative study.	Am J Hosp Palliat Care	May 16	[epub ahead of print]	2013
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	A pilot study of adaptation of the transtheoretical model to narratives of bereaved family members in the bereavement life review.	Am J Hosp Palliat Care	May 20	[epub ahead of print]	2013
Sasahara T, <u>Morita T</u> , et al	Assessment of reasons for referral and activities of hospital palliative care teams using a standard format: A multicenter 1000 case description.	J Pain Symptom Manage	Aug 21	[epub ahead of print]	2013
Imura C, <u>Morita T</u> , et al	How and why did a regional palliative care program lead to changes in region? A qualitative analysis of the Japan OPTIM Study.	J Pain Symptom Manage	Aug 24	[epub ahead of print]	2013
Ise Y, <u>Morita T</u> , et al	The activity of palliative care team pharmacists in designated cancer hospitals: A nationwide survey in Japan.	J Pain Symptom Manage	Sep 6	[epub ahead of print]	2013

Yamaguchi T, <u>Morita I</u> , et al	Pneumocystic pneumonia in patients treated with long-term steroid therapy for symptom palliation: A neglected infection in palliative care.	Am J Hosp Palliat Care	Sep 30	[epub ahead of print]	2013
Shimizu Y, <u>Morita I</u> , et al	Care strategy for death rattle in terminally ill cancer patients and their family members: Recommendations from a cross-sectional nationwide survey of bereaved family members' perceptions.	J Pain Symptom Manage	Oct 22	[epub ahead of print]	2013
<u>Nakaya N</u> , et al	The association between self-reported history of physical diseases and psychological distress in a community-dwelling Japanese population: the Ohsaki Cohort 2006 Study	Eur J Publ Health			In press

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高橋真由美, <u>小川朝生</u> , <u>内富庸介</u> , 他	【うつを診る】各領域におけるうつ病診療とその対策の実際 緩和ケア領域におけるうつ病	総合臨床	59(5)	1224-1230	2010
大谷恭平, <u>小川朝生</u> , <u>内富庸介</u> , 他	サバイバーにおける認知機能障害	腫瘍内科	5(2)	202-210	2010
<u>内富庸介</u>	精神腫瘍学概論	岡山医学会雑誌	122	119-124	2010
<u>内富庸介</u> , 他	がん患者の心理的反応に配慮したコミュニケーション	日本整形外科学会雑誌	84	331-337	2010
白井由紀, <u>小川朝生</u> , <u>内富庸介</u> , 他	がん治療中の患者の精神症状	エビデンスにもとづいた Oncology Nursing	総集編	163-167	2010
森田達也, <u>内富庸介</u> , 他	がん患者が望む「スピリチュアルケア」89名のインタビュー調査.	精神医学	52	1057-1072	2010
清水研	がん患者の精神症状とそのスクリーニング	臨床精神薬理	13	1287-1294	2010
清水研	サバイバーとサバイバーシップ	腫瘍内科	5	95-99	2010
<u>小川朝生</u>	精神科医への期待 いま進められている事業から	精神神経学雑誌	112(10)	1010-1017	2010
<u>小川朝生</u>	【がんの告知と看護師の役割 看護師のコミュニケーション技術】医療者間のコミュニケーション	がん看護	15(1)	50-52	2010
<u>小川朝生</u>	がんチーム医療におけるコミュニケーション・スキル	Oncology Nursing	1(1)	22-25	2010
石橋照子, <u>岡村仁</u> , 他	糖尿病を合併する統合失調症患者の治療の実態と血糖コントロール困難の要因	島根県立大学短期大学部出雲キャンパス研究紀要	4	1-8	2010
井上誠, <u>岡村仁</u> , 他	介護老人保健施設入所者にみられる抑うつとその関連要因 - 抑うつ徴候の早期発見と効果的な介護介入 -	人間と科学	10	105-114	2010

井上誠, 岡村仁, 他	介護老人保健施設入所者における抑うつに関連要因と介入方法について	日本看護技術協会誌	153	307-311	2010
繁本梢, 岡村仁	リハビリテーション部門における遺族ケア	臨床看護 臨時増刊号	36	567-572	2010
繁本梢, 岡村仁	がんサバイバーシップのリハビリテーション	腫瘍内科	5	151-155	2010
小早川誠, 岡村仁, 他	日本における緩和医療の現状と展望	臨床精神薬理	13	1279-1285	2010
岡村仁	がん医療に携わる心のケア従事者への教育	精神神経学雑誌	112	1024-1027	2010
大西秀樹, 他	がん患者の遺族ケア	現代のエスプリ	517	185-193	2010
大西秀樹, 他	家族心理	臨床精神医学	39	879-996	2010
大西秀樹	遺族との対話	健康	2010秋	30-31	2010
荻野和功, 森田達也	がん医療はどう変わったのか「がん対策基本法」施行から2年半. 浜松地域のリーダーとして現場のニーズを常に念頭に入れがんになっても安心な環境づくりに取り組む	medi.magazine	冬号 通巻04号	20-24	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	浜松市のがん患者に対するケアマネジメントの実態調査	緩和ケア	20	92-98	2010
森田達也	シリーズ「がん」 緩和ケア、普通の暮らしを願って	朝日新聞社		<a href="http://www.asahi.com/health/essay/TKY201001280383.html">http://www.asahi.com/health/essay/TKY201001280383.html</a>	2010
森田達也, 他	特集 進歩するがん診療 鼎談 緩和ケアの最前線	日本医事新報	4475	45-55	2010
森田達也, 他	末期がんだけではない「緩和ケア」は、ここまで進化した	ナーシングカレッジ	14	44-50	2010
吉田沙蘭, 森田達也, 他	難治性小児がん患者の家族が経験する困難の探索	小児がん	47	91-97	2010
森田達也	緩和医療 緩和ケアチームと緩和ケア病棟	臨床麻酔	34 (臨時増刊号)	431-443	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み - フォーカスグループの有用性	緩和ケア	20	204-209	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み - フォーカスグループの有用性 <sup>2)</sup>	緩和ケア	20	308-312	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	緩和ケアチームによる診療所へのアウトリーチプログラムの有用性	癌と化学療法	37	863-870	2010
森田達也	末期肺癌の緩和ケア (Q&A)	日本医事新報	4497	79-80	2010
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第1回 論文を書く、その前に 原著論文の査読システムを知る	緩和ケア	20	379-383	2010
井村千鶴, 森田達也, 他	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み - フォーカスグループの有用性 <sup>3)</sup>	緩和ケア	20	417-422	2010

森田達也	がん性疼痛治療 がん性疼痛ガイドラインの作成	Mebio	27	24-28	2010
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第2回「はじめに」を書く	緩和ケア	20	513-516	2010
森田達也	在宅の視点をもった緩和ケアチーム	地域緩和ケアリンク	10	2	2010
小田切拓也, 森田達也	そこが知りたい! 緩和ケアにおける服薬指導 第 部緩和ケアにおいて服薬指導に何が求められるか	緩和ケア	20 ( 10 月増刊号 )	2-5	2010
伊藤富士江, 森田達也, 他	がん在宅緩和医療の課題と解決策に関する診療所医師を対象とした訪問調査	緩和ケア	20	641-647	2010
余宮さのみ, 森田達也	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン2010年版を読み解く オピオイド鎮痛薬を中心に	ペインクリニック	31	1477-1483	2010
森田達也	経験したことを伝えて行こう 研究論文の書き方 第3回「対象・方法」を書く	緩和ケア	20	605-610	2010
新城拓也, 森田達也, 他	主治医による死亡確認や臨終の立ち会いが, 家族の心理に及ぼす影響についての調査研究	Palliat Car Res	5	162-170	2010
赤澤輝和, 森田達也, 他	緩和ケアについての市民・患者対象の啓発介入の実態調査	Palliat Car Res	5	171-174	2010
中谷直樹, 他	がん患者のサバイバーシップ; 社会的問題 (退職・未就労リスク及び離婚リスク)	腫瘍内科	5(2)	122-130	2010
内富庸介	がんを抱えたときの心構え	おかやま こころの健康	53	4-13	2011
井上真一郎, 内富庸介	せん妄の要因と診断	がん患者と対象療法	22(1)	6-11	2011
内富庸介	高齢者がん医療にもっと心の医療を	週刊日本医事新報,	4545	1	2011
内富庸介	ホスピスケアと家族 - その抑うつと自殺について -	アディクションと家族	27(4)	315-322	2011
井上真一郎, 内富庸介, 他	高齢者うつ病にmirtazapine使用後、せん妄を来した4例	臨床精神薬理	14(6)	1057-1062	2011
内富庸介	コンサルテーション・リエゾン精神医学研究の将来展望	学術の動向	16(7)	42-45	2011
白井由紀, 内富庸介	がん患者・家族の意思決定補助ツールとしての質問促進パンフレット	腫瘍内科	8(1)	57-64	2011
内富庸介	メンタルケアはますます重要になる	がんから身を守る予防と検診	31	142-152	2011
内富庸介	がん医療における心のケア	社団法人 広島県病院協会会報	89	35-45	2011
武田雅俊, 内富庸介, 他	症状性を含む器質性精神障害の症例	臨床精神医学	40(10)	1249-1265	2011
内富庸介	災害とうつ病およびその関連疾患	Depression frontier	9(2)	7-10	2011
奥山徹, 明智龍男	高齢がん患者において頻度の高い精神疾患とそのマネジメント	腫瘍内科	8	270-275	2011

明智龍男	かかりつけ医が理解すべきがん患者のこころの変化-診断から終末期まで	治療	93	777-781	2011
明智龍男	がんの部位と進行度別にみた精神症状の特徴とそれに応じた対応	精神科治療学	26	937-942	2011
明智龍男	緩和ケアを受けるがん患者の実存的苦痛の精神療法-構造をもった精神療法	精神科治療学	23	821-827	2011
明智龍男	気持ちのつらさ	がん治療レクチャー	2	578-582	2011
清水研	がん患者に合併する抑うつ臨床の実際	分子精神医学	11	81-83	2011
小川朝生	(Q)transcranial magnetic stimulation(TMS)の実施状況	日本医事新報	4541	55-56	2011
小川朝生	「怒る」患者 - 隠れているせん妄をみつける	看護技術	57(1)	70-73	2011
小川朝生	せん妄を家族に説明する	看護技術	57(2)	172-175	2011
小川朝生	せん妄と認知症の症状の見分け方	看護技術	57(3)	66-69	2011
小川朝生	レスキューが効かない痛み	看護技術	57(4)	337-340	2011
小川朝生	せん妄患者への声のかけ方	看護技術	57(6)	565-568	2011
小川朝生	あなたみたいな若い人にはわからないわよ	看護技術	57(7)	668-671	2011
小川朝生	患者だけではなく家族も不安	看護技術	57(8)	741-744	2011
小川朝生	告知の後に患者さんが泣いています	看護技術	57(9)	846-849	2011
小川朝生	傾聴で解決できること、できないこと	看護技術	57(10)	932-935	2011
小川朝生	予期悲嘆は起こさなければならないのか	看護技術	57(11)	1023-1025	2011
小川朝生	患者さんのことを主治医に相談しても話になりません	看護技術	57(13)	1252-1255	2011
小川朝生	あなたは大丈夫？	看護技術	57(14)	1356-1359	2011
小川朝生	終末期がん患者における精神刺激薬の使用	精神科治療学	26(7)	857-864	2011
小川朝生	SHAREを用いた化学療法中止の伝え方	がん患者ケア	5(1)	3-7	2011
小川朝生	新しい向精神薬を活用する	緩和ケア	21(6)	606-610	2011
小川朝生	がん患者における医療用麻薬および向精神薬の実態調査	医療薬学	37(7)	437-441	2011
小川朝生	ガイドラインの分かりやすい解説	緩和ケア	21(Sup p1)	132-133	2011
小川朝生	臨床への適用と私の使い方	緩和ケア	21(Sup p1)	134-135	2011
小川朝生	特集にあたって	レジデントノート	13(7)	1194-1195	2011
小川朝生	入院患者の不眠とせん妄を鑑別するポイントを教えてください	レジデントノート	13(7)	1215-1219	2011
小川朝生	統合失調症	看護学生	58(13)	26-30	2011
小川朝生	がん専門病院の立場から	外来精神医療	11(1)	17-19	2011
小川朝生	家族の心理状態について	ホスピスケア	22(1)	30-55	2011

小川朝生	平成22年度厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会	Medical Tribune	44(19)	22	2011
小川朝生	Cancer-brainとうつ病	Depression Frontier	9(1)	85-92	2011
對東真帆子, 岡村仁	ドイツ連邦共和国A市在住の邦人駐在員配偶者のメンタルヘルスと生活状況との関連	日本看護学会論文集 地域看護	41	28-30	2011
花岡秀明, 岡村仁, 他	高齢者の回想に関連する要因の検討 回想の質と量に着目して	作業療法ジャーナル	45	497-503	2011
新山悦子, 岡村仁	職場における心的外傷の想起が看護師の精神的健康に及ぼす影響	看護・保健科学研究誌	11	21-30	2011
岡村仁, 他	看護師の職場における心的外傷の収集と分類	看護・保健科学研究誌	11	48-54	2011
新山悦子, 岡村仁	看護職の職場における心的外傷の実態および外傷反応と共感性との関連	看護・保健科学研究誌	11	55-64	2011
田邊智美, 岡村仁	看護師の離職意向に関連する要因の検討 - 緩和ケア病棟における調査結果をもとに	Palliative Care Research	6	126-132	2011
三木恵美, 岡村仁, 他	末期がん患者に対する作業療法士の関わり～作業療法士の語りの質的内容分析～	作業療法	30	284-294	2011
林麗奈, 岡村仁, 他	統合失調症患者のセルフスティグマに関する研究 - セルフエフィカシー, QOL, 差別体験との関連について -	総合リハビリテーション	39	777-783	2011
藤野成美, 岡村仁	長期入院統合失調症患者の苦悩評価尺度の作成とその信頼性・妥当性の検討	日本看護研究学会誌	34	55-63	2011
花岡秀明, 岡村仁, 他	匂い刺激を用いた回想法の中期的効果の予備的研究 - 地域在宅高齢者に焦点化して -	医学と生物学	155	929-936	2011
小早川誠, 岡村仁, 他	外来化学療法中のがん患者に対する看護師による精神症状スクリーニングの実施可能性の検討	総合病院精神医学	23	52-59	2011
岡村仁	うつ病のメカニズム	バイオメカニズム	35	3-8	2011
岡村仁	外来精神医療と緩和ケア: がん患者にみられる精神症状とその対応	外来精神医療	11	20-24	2011
大西秀樹, 他	がん医療における心の問題とその対応	ペインクリニック	32(5)	701-711	2011
大西秀樹, 他	「がん生存者」の心理・精神症状理解とその臨床的有用性 (特集サイコオンコロジーの現場から心理・精神医学的問題)	精神科治療学	26(8)	1007-1011	2011
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第4回「結果・考察」を書く	緩和ケア	21(1)	55-60	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	がん患者に対する介護保険手続きの迅速化の効果	緩和ケア	21(1)	102-107	2011
厨芽衣子, 森田達也, 他	論文を読み、理解する Early palliative care for patients with metastatic non-small-cell lung cancer	緩和ケア	21(2)	170-178	2011

赤澤輝和, 森田達也, 他	緩和ケアの啓発用冊子を病院内のどこに置いたらよいか?	緩和ケア	21(2)	221-225	2011
杉浦宗敏, 森田達也, 他	がん診療連携拠点病院における緩和ケア提供に関する薬剤業務等の全国調査	日本緩和医療薬学雑誌	4(1)	23-30	2011
森田達也	泌尿器系難治症状の緩和 がん性疼痛ガイドラインのエッセンス 緩和医療学会がん疼痛ガイドラインのエッセンス	日本泌尿器科学会雑誌	102(2)	205	2011
森田達也	緩和ケア普及のための地域プロジェクト 浜松地域のあゆみと今後の課題	大阪保険医雑誌	39(533)	10-17	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	病院と地域とで行う連携ノウハウ 共有会とデスカンファレンスの参加者の体験	緩和ケア	21(3)	335-342	2011
森田達也, 他	特集 がん疼痛治療の最新情報 早期緩和ケア導入によるがん治療の影響と効果	Progress in Medicine	31(5)	1189-1193	2011
高田知季, 森田達也, 他	基幹病院における緩和医療. 麻酔科医出身のペインクリニシャンが関わる緩和医療	ペインクリニック	32(6)	845-856	2011
清原恵美, 森田達也, 他	地域における緩和ケア病棟の役割 緩和ケア病棟における地域の看護師を対象とした研修の評価	死の臨床	34(1)	110-115	2011
森田達也, 他	臨床現場が必要とする緩和ケアを提供するために院内外“ゆるやかなネットワーク”づくりに力を注ぐ	Watches	5	7-9	2011
山岸暁美, 森田達也, 他	在宅緩和ケアに関する望ましいリソースデータベースとは何か? - 多地域多職種を対象とした質的研究	緩和ケア	21(4)	443-448	2011
小田切拓也, 森田達也	ケアの実際 Q24. 予後予測	がん治療レクチャー	2(3)	589-593	2011
森田達也, 他	第 部 がん疼痛ガイドラインについてのわたしの本音 1. がん疼痛ガイドラインを現場ではこう実践しています【医師編】. 解説 がん疼痛ガイドライン - 現場で生きるわたしの工夫 -	緩和ケア	21(8月増刊号)	154-174	2011
末田千恵, 森田達也, 他	どのような緩和ケアセミナーが求められているか: 4,188名が評価した緩和ケアセミナーの有用性に影響する要因	ペインクリニック	32(8)	1215-1222	2011
森田達也	ガイドラインを読むために知っておきたい臨床疫学の知識 2. 緩和ケア領域の臨床研究の読み方. 解説 がん疼痛ガイドライン - 現場で生きるわたしの工夫 -	緩和ケア	21(8月増刊号)	191-192	2011
村上敏史, 森田達也, 他	がん疼痛ガイドラインの分かりやすい解説と枚ルール オピオイドの導入の仕方 オピオイドを投与する時に何をどう選ぶか?	緩和ケア	21(8月増刊)	25-35	2011
森田達也, 他	多施設との医療連携の現状: 緩和ケア普及のための地域プロジェクト (OPTIM-study) 浜松地域のあゆみ	最新精神医学	16(5)	563-572	2011

	と今後の課題				
井村千鶴, 森田達也, 他	在宅死亡したがん患者の遺族による退院前カンファレンス・退院前訪問の評価	緩和ケア	21(5)	533-541	2011
鈴木留美, 森田達也, 他	「生活のしやすさ質問票 第3版」を用いた外来化学療法患者の症状頻度・ニードおよび専門サービス相談希望の調査	緩和ケア	21(5)	542-548	2011
小田切拓也, 森田達也, 他	原因不明の神経症状と疼痛で緩和ケアチームに紹介された患者の疼痛の原因と転帰	ペインクリニック	32(9)	1423-1426	2011
鄭陽, 森田達也, 他	難治性の膀胱症状に対して上下腹神経叢ブロックが有効であった - 症例	日本ペインクリニック学会誌	18(4)	404	2011
川口知香, 森田達也, 他	呼吸器内科病棟における肺癌患者の呼吸困難に対するケアの現状	日本癌治療学会誌	46(2)	890	2011
森田達也	緩和ケアの地域関連OPTIMプロジェクト浜松 地域リソースの「オペティマイズ=最大活用」と網目のようなネットワークが緩和ケア普及の鍵	Medical Partnering	56	1-5	2011
森田達也	地域連携のさまざまなスタイルを発見 医師の「地域連携力」を鍛える	Doctor's Career Monthly	31	21	2011
古村和恵, 森田達也, 他	進行がん患者と遺族のがん治療と緩和ケアに対する要望 821名の自由記述からの示唆	Palliat Care Res	6(2)	237-245	2011
森田達也	グッドデス概念って何?	緩和ケア	21(6)	632-635	2011
小野宏志, 森田達也, 他	地域の多職種で作成した調査票を用いた在宅死亡がん患者の遺族による多機関多職種の評価	緩和ケア	21(6)	655-663	2011
山岸暁美, 森田達也, 他	地域のがん緩和ケアの課題と解決策の抽出 OPTIM-Studyによる複数地域・多職種による評価	癌と化学療法	38(11)	1889-1895	2011
中谷直樹, 他	デンマークにおける保健医療データベースに関する調査研究	公衆衛生	75(2)	160-163	2011
矢野智宣, 内富庸介	周術期のせん妄の診断と治療術前からリスク因子に対応し、必要に応じて薬物治療を	Life Support and Anesthesia	19(2)	144-148	2012
藤原雅樹, 内富庸介, 他	うつ状態に対するlamotrigineの急性効果の検討	臨床精神薬理	15(4)	551-559	2012
内富庸介	がん患者の抑うつと薬物治療	臨床精神薬理	15(7)	1135-1143	2012
内富庸介	がん医療におけるコミュニケーションスキル	造血細胞移植	24	2-3	2012
矢野智宣, 内富庸介, 他	うつ病を伴う口腔灼熱感症候群にpregabalinが有効であった1例	精神医学	54(6)	621-623	2012
内富庸介	がん患者の意思決定を支援する	Nurshing Today	27(5)	50-53	2012
明智龍男	メント・モリ	精神医学	54	232-233	2012
明智龍男	がん終末期の精神症状のケア	コンセンサス癌治療	10	206-209	2012
清水研	QOLを低下させる心の病。早期治療で改善を	がんサポート	112	50-53	2012

清水研	緩和ケアにおいて心身医学はどのような貢献ができるか？	心身医学	52	617-622	2012
上山栄子, 小川朝生, 他	反復経頭蓋磁気刺激によるラット海馬における神経細胞新生の増加	精神神経学雑誌	114(9)	1018-1022	2012
松本禎久, 小川朝生	がん患者の症状緩和	Modern Physician	32(9)	1109-1112	2012
小川朝生	がん患者の精神心理的ケアの最大の問題点	がん患者ケア	5(3)	55	2012
小川朝生	がん患者に見られるせん妄の特徴と知っておきたい知識	がん患者ケア	5(3)	56-60	2012
小川朝生	悪性腫瘍(がん)	精神看護	15(4)	76-79	2012
岡村仁	がんのリハビリテーション - チームで行う緩和ケア - :心のケアとリハビリテーション	MEDICAL REHABILITATION	140	37-41	2012
岡村仁	がん患者のリハビリテーション:心のケアとリハビリテーション	がん看護	17	751-753	2012
花岡秀明, 岡村仁, 他	地域ボランティア活動の有効性に関する予備的検討 - 回想法グループへの参加を通して	作業療法ジャーナル	46	292-296	2012
古村和恵, 森田達也, 他	市民の緩和ケアに対するイメージの変化	緩和ケア	22(1)	79-83	2012
福本和彦, 森田達也, 他	オピオイド新規導入タイトレーションパスががん疼痛緩和治療に与える影響	癌と化学療法	39(1)	81-84	2012
佐藤泉, 森田達也, 他	在宅特化型診療所と連携する訪問看護ステーションの遺族評価	訪問看護と介護	17(2)	155-159	2012
井村千鶴, 森田達也, 他	患者・遺族調査の結果に基づいた緩和ケアセミナーの有用性	ペインクリニック	33(2)	241-250	2012
森田達也	医療羅針盤 私の提言(第50回)地域緩和ケアを進めるためには「顔の見える関係」を作ることが大切である	新医療	39(3)	18-23	2012
井村千鶴, 森田達也, 他	地域で行うデスカンファレンスの有用性と体験	緩和ケア	22(2)	189-194	2012
森田達也	がん性疼痛に対する鎮静薬の副作用対策	コンセンサス癌治療	10(4)	192-195	2012
森田達也	緩和ケアチームの活動とOPTIMの成果	Credentials	44	9-11	2012
鄭陽, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第1回WHO step オピオイド:弱オピオイドの使用, WHO step オピオイド:オピオイドの第1選択	緩和ケア	22(3)	241-244	2012
森田達也, 他	地域対象の緩和ケアプログラムによる医療福祉従事者の自覚する変化: OPTIM-study	Palliat Care Res	7(1)	121-135	2012
古村和恵, 森田達也, 他	迷惑をかけてつらいと訴える終末期がん患者への緩和ケア 遺族への質的調査からの示唆	Palliat Care Res	7(1)	142-148	2012
市原香織, 森田達也, 他	看取りのケアにおけるLiverpool Care Pathway日本語版の意義と導入可能性 - 緩和ケア病棟2施設におけ	Palliat Care Res	7(1)	149-162	2012

	るパイロットスタディ				
森田達也, 他	地域緩和ケアプログラムに参加した医療福祉従事者が地域連携のために同職種・他職種に勧めること	Palliat Care Res	7(1)	163-171	2012
森田達也, 他	在宅緩和ケアを担う診療所として在宅特化型診療所とドクターネットは相互に排除的か?	Palliat Care Res	7(1)	317-322	2012
森田達也, 他	地域緩和ケアにおける「顔の見える関係」とは何か?	Palliat Care Res	7(1)	323-333	2012
山田博英, 森田達也, 他	患者・遺族調査から作成した医療者向け冊子「がん患者さん・ご家族の声」	Palliat Care Res	7(1)	342-347	2012
前堀直美, 森田達也, 他	外来患者のがん疼痛に対する保険薬局薬剤師の電話モニタリング・受診前アセスメントの効果	ペインクリニック	33(6)	817-824	2012
森田達也	臨床診断より優れた進行がん患者の予後予測モデル 開発予測モデルの再現性は未確認	MMJ	8(2)	102-103	2012
森田達也	日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部第10回年次大会から. 緩和ケア地域介入研究<OPTIM-study>が明らかにしたこと: 明日への示唆	Best Nurse	23(7)	6-15	2012
岩崎静乃, 森田達也, 他	終末期がん患者の口腔合併症の向き観察研究	緩和ケア	22(4)	369-373	2012
小田切拓也, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第2回オピオイドのタイトレーション オピオイドの経皮製剤の役割	緩和ケア	22(4)	346-349	2012
大野友久, 森田達也, 他	入院患者における口腔カンジダ症に対する抗真菌薬の臨床効果に関する研究	癌と化学療法	39(8)	1233-1238	2012
今井堅吾, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第3回 1オピオイドによる嘔気・嘔吐に対する治療, 2オピオイドによる便秘に対する治療, 3オピオイドによる中枢神経症状に対する治療	緩和ケア	22(5)	428-431	2012
森田達也	緩和ケア領域における臨床研究: 過去、現在、未来	腫瘍内科	10(3)	185-195	2012
木下寛也, 森田達也, 他	がん専門病院が地域緩和ケアの向上のために取り組んでいることと課題	癌と化学療法	39(10)	1527-1532	2012
森田達也	クローズアップ・がん治療施設(28) 聖隷三方原病院 腫瘍センター・緩和ケア部門	臨床腫瘍プラクティス	8(4)	415-417	2012
鄭陽, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第4回1.アセトアミノフェンとNSAIDsの役割. 2.鎮痛補助薬の役割. 3.腎機能障害のある患者へのオピオイドの使用	緩和ケア	22(6)	522-525	2012

木澤義之, 森田達也, 他	地域で統一した緩和ケアマニュアル・パンフレット・評価シートの評価: OPTIM-study	Palliat Care Res	7(2)	172-184	2012
山本亮, 森田達也, 他	看取りの時期が近づいた患者の家族への説明に用いる『看取りのパンフレット』の有用性: 多施設研究	Palliat Care Res	7(2)	192-201	2012
森田達也, 他	地域緩和ケアプログラムに参加した医療福祉従事者が最も大きいと体験すること: OPTIM-study	Palliat Care Res	7(2)	209-217	2012
木下寛也, 森田達也, 他	がん専門病院緩和ケア病棟の運営方針が地域の自宅がん死亡率に及ぼす影響	Palliat Care Res	7(2)	348-353	2012
森田達也, 他	異なる算出方法による地域での専門緩和ケアサービス利用数の比較	Palliat Care Res	7(2)	374-381	2012
森田達也, 他	患者所持型情報共有ツール「わたしのカルテ」の評価: OPTIM-study	Palliat Care Res	7(2)	382-388	2012
白髭豊, 森田達也, 他	OPTIMプロジェクト前後での病院から在宅診療への移行率と病院医師・看護師の在宅の視点の変化	Palliat Care Res	7(2)	389-394	2012
森田達也, 他	遺族調査に基づく自宅死亡を希望していると推定されるがん患者数	Palliat Care Res	7(2)	403-407	2012
内富庸介	がん患者の抑うつ対策 医療者が積極的に抑うつの症状を聞くことが重要	Clinic magazine	524	18-21	2013
井上真一郎, 内富庸介	せん妄の要因と予防	臨床精神医学	42(3)	289-297	2013
井上真一郎, 内富庸介	がん診断早期から行うべき緩和薬物療法の実践 - 精神的ストレスの観点から -	Mebio	30(7)	23-29	2013
井上真一郎, 内富庸介, 他	せん妄を見逃さないための注意点	精神科治療学	28(8)	1011-1017	2013
浅井真理子, 内富庸介, 他	配偶者をがんで亡くした遺族の対処行動パターン	心理学研究	84(5)	498-507	2013
伊藤嘉規, 明智龍男, 他	小児がん患者とその家族のこころのケア	精神科	23	288-292	2013
明智龍男	がんこころのケア-サイコオンコロジー	精神科	23	271-275	2013
明智龍男	せん妄の向精神薬による対症療法と処方計画	精神科治療学	28	1041-1047	2013
明智龍男	緩和医療とせん妄	臨床精神医学	42	307-312	2013
明智龍男	術後せん妄	消化器外科	36	1643-1646	2013
明智龍男	抑うつとがん	レジデントノート	15	2440-2443	2013
明智龍男, 森田達也	臨床で役立つサイコオンコロジーの最新エビデンス-特集にあたって	緩和ケア	23	191	2013
明智龍男	がん患者の自殺に関する最新データ	緩和ケア	23	195	2013
明智龍男	希死念慮を有する患者のアセスメントとケア	緩和ケア	23	200	2013
清水研	ナショナルセンターとしてのあり方	総合病院精神医学	25(2)	151-155	2013
小川朝生	がん領域における精神疾患と緩和ケアチームの役割	PSYCHIATRIST	18	54-61	2013

小川朝生	一般病棟における精神的ケアの現状	看護技術	59(5)	422-426	2013
小川朝生	せん妄の予防-BPSDに対する薬物療法と非薬物療法-	緩和ケア	23(3)	196-199	2013
小川朝生	高齢がん患者のこころのケア	精神科	23(3)	283-287	2013
小川朝生	がん患者の終末期のせん妄	精神科治療学	28(9)	1157-1162	2013
小川朝生	がん領域における精神心理的ケアの連携	日本社会精神医学会雑誌	22(2)	123-130	2013
岡村仁	サイコオンコロジー総論	心身医学	53	386-391	2013
岡村仁	心のケアとリハビリテーション・コミュニケーションスキル	リハビリナース	6	375-379	2013
大西秀樹, 他	ホルモン療法開始とに身体症状が出現し治療中止となったstage 乳がん症例に対する精神腫瘍学的介入	精神科	22	126-160	2013
大西秀樹, 他	女性がん患者とこころ - 精神腫瘍医の立場から	Jp Soc Psychosom Obstet Gynecol	17	273-277	2013
大西秀樹, 他	精神疾患が関与したしびれ	レジデントノート	15	1982-1686	2013
大西秀樹, 他	"アカシジア再考"	精神医学	55	924-925	2013
大西秀樹, 他	がん患者家族・遺族の心のケア	精神科	23	293-300	2013
大西秀樹, 他	精神腫瘍学における薬物療法	臨床雑誌「外科」	75	1426-1430	2013
大西秀樹, 他	家族/遺族を支える	日本社会精神医学会雑誌	22	486-492	2013
森田達也	せん妄マネジメントの実際とケアの具体策 がんによる「せん妄」の原因と出現するメカニズム	がん患者ケア	6(3)	62-66	2013
森田達也	せん妄マネジメントの実際とケアの具体策 「せん妄」の薬物治療とケアの注意点	がん患者ケア	6(3)	67-72	2013
山内敏宏, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 第5回代替全身投与経路2突出痛に対するオピオイド	緩和ケア	23(1)	61-63	2013
森田達也	社会の力を最大化する「顔の見える関係」緩和ケアプログラムの地域介入研究 (OPTIM-study) を終えて	週刊医学界新聞	第3019号	4	2013
厨芽衣子, 森田達也	EAPC (European Association of Palliative Care) 疼痛ガイドラインを読む. 最終回 1オピオイドスイッチング, 2オピオイド力価	緩和ケア	23(2)	161-162	2013
佐藤一樹, 森田達也, 他	地域における緩和ケア(在宅緩和ケア) 緩和ケア普及のための地域プロジェクト(1)緩和ケア普及のための地域プロジェクトで使用した評価尺度	保健の科学	55(4)	230-235	2013
森田達也	地域における緩和ケア(在宅緩和ケア) 緩和ケア普及のための地域プロジェクト(2)地域プロジェクト(OPTIM-study)の効果	保健の科学	55(4)	236-241	2013
森田達也, 他	「緩和ケアに関する地域連携評価尺度」の開発	Palliat Care Res	8(1)	116-126	2013

森田達也, 他	がん患者のこころのケアと地域ネットワーク OPTIM-studyの知見から	精神科	23(3)	307-314	2013
森田達也	苦痛緩和のための鎮静	medicina	50(11 増刊号)	527-531	2013
森田達也, 他	患者・遺族の緩和ケアの質評価・quality of life, 医師・看護師の困難感と施設要因との関連	緩和ケア	23(6)	497-501	2013
中谷直樹	心理社会的要因とがん発症・生存に関する最新データ	緩和ケア	23(3)	217	2013